

第 15 回 長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会 議事録

[日 時] 平成 25 年 3 月 8 日 (金) 13:30~16:00

[会 場] 東京ステーションコンファレンス

[出席者] 専門委員 5 名

長野広域連合 6 名

(一財)日本環境衛生センター 1 名

(株)建設技術研究所 3 名

委員会議事録概要

(1) 第 14 回委員会議事録の承認

議事録について承認された。

(2) 最終処分場の基本条件について

最終処分場設置に係る基本条件について説明し、協議した。

<委員意見等>

- ・最終処分場を造ることによって、地域の安全に貢献できることをアピールできないか。
- ・地層地質の状況により掘削の深さが決まるので、処分場面積が広がる可能性を考慮する必要がある。
- ・雨水や地下水の放流先となる水路の状況や許容放流量等を把握しておく必要がある。
- ・施設整備や水処理のコストを比較しないと、施設の構造等の評価ができない。
- ・B 焼却施設は処理方式が決まっておらず、それにより埋立量が変わる。また、埋め立てる廃棄物により、埋立方法や水処理方法が異なる。
- ・工事の際に出る残土の処理方法を考える必要がある。質や量によっては覆土材として計画の中で置き場が必要である。

(3) 最終処分場の地質調査について

地質調査の考え方について説明し、協議した。

<委員意見等>

- ・湧水が多くみられ、一部は被圧している。最終処分場建設にあたっては、地下水の排水を工夫する必要がある。地下水の状況を十分に把握する調査とすることが必要である。
- ・地下水の調査にあたっては、水位だけでは評価を誤る可能性がある。水質分析により地下水の系統を把握する必要がある。